

2025年4月 新着資料一覧 一般書

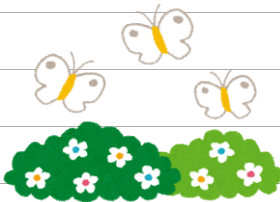
タイトル	著者
[0] 総記	
研究者、生活を語る	岩波書店編集部 // 編
<p>家族のケアを担う研究者たちは、何を思い、日常をどう回しているのか。現役世代と先達による経験談27編を収録。働きながらケアをする、暗中模索の道を進むすべての世代へ贈るエール。『科学』連載などをもとに書籍化。</p>	
新NFTの教科書	天羽 健介 // 編著
図書館員が知りたい著作権80問	日本図書館協会著作権委員会 // 著
編集宣言	松岡 正剛 // 著
「本」とともに地域で生きる	南陀楼綾繁 // 著
「わかりやすさ」を疑え	飯田 浩司 // 著
[1] 哲学・宗教	
苦しかったときの話をしようか	森岡 毅 // 著
<p>自分の強みをどう知るか。自分の弱さとどう向き合うのか。USJ復活の立役者が、「自分をマーケティングする方法」を教える。キャリアに悩むすべての人に役立つ本質的ノウハウが満載。</p>	
[2] 歴史・地理・紀行	
江戸時代の暮らしと文化の絵事典	安藤 優一郎 // 監修
女性の日本史	小名木 善行 // 著
はにわのヒミツ	河野 正訓 // 著
北村山の歴史 第24号	北村山地域史研究会 // 編
写本で楽しむ奇妙な中世ヨーロッパ	オリビア スウォーサウト // 著
蔦屋重三郎	増田 晶文 // 著
狂人たちの世界一周	ピーター ニコルス // 著
ヤマザキマリの世界逍遙録 2	ヤマザキ マリ // 著
ふるさと・みちのくから考える	居駒 永幸 // 著
<p>斎藤茂吉の短歌や万葉和歌などの「歌」、長く民俗調査の対象にしてきた「祭り」、子どもたちに伝える「未来」…。山形を中心に、みちのくの歌・祭りに畳み込まれた地域文化の根源を探り、未来に向けてふるさとの力を説く。</p>	
とっておきの源泉かけ流し445湯 続	小林 裕彦 // 著
大学的福島ガイド	福島大学行政政策学類 // 編
大学的神奈川ガイド	平山 昇 // 編
ショッピング・イン・アオモリ	能町 みね子 // 著
三国志を歩く中国を知る	坂本 信博 // 著

タイトル	著者
酒を主食とする人々	高野 秀行 // 著
<p>クレイジージャーニーがたどり着いたのは、科学の常識を遙かに超えた村だった! 酒を主食とし、一日中酒を飲む民族を探访するディープアフリカ紀行。</p>	
[3] 社会科学 (政治・経済・教育・民俗など)	
公共の未来	古見 彰里 // 著
地方創生	秋田魁新報「地方創生」取材班 // 著
六法全書 令和7年版1	荒木 尚志 // 編集代表
六法全書 令和7年版2	荒木 尚志 // 編集代表
檻を壊すライオン	椋 大樹 // 著
アジアン・ポップカルチャー大全	ジェフ ヤン // 著
個人事業の教科書1年生	宇田川 敏正 // 監修
やましん企業・団体ガイド 2025	山形新聞社就職情報室
知っているようで知らない物価のしくみ	斎藤 太郎 // 監修
徳川期の銭貨流通	藤井 典子 // 著
統計やまがた 2025年	山形県みらい企画創造部統計企画課
「ネット世論」の社会学	谷原 つかさ // 著
<p>ネット上で多数派に見える意見は、必ずしも実際の支持率や選挙結果とは相関しない。この乖離は、なぜ、どのように生まれるのか? 定量的なデータ分析に基づき、日本における「ネット世論」の構造や実態を明らかにする。</p>	
死にたい気持ちに触れるということ	加藤 雅江 // 著
民生委員のための一人暮らし高齢者支援・見守りQ&A	小林 雅彦 // 著
子ども若者の権利と政策 1	末富 芳 // 監修
中学校教師として生きる	中瀬 浩一 // 著
山形県退職校長会 結成60年記念誌~この10年の歩み~会報116号	山形県退職校長会
読んだら勉強したくなる東大生の学び方	西岡 壺誠 // 著
子どもと作るかぶりもの&アイテム	片岡 章彦 // 著
未来を創る地域教育をめざして	北村山視聴覚教育センター
北朝鮮の食卓	キム ヤンヒ // 著
<p>北朝鮮で愛されているお菓子は? よく飲まれているお酒は? 韓国に住む著者が、自国とは少し違う北朝鮮独自の食文化を体験し、異なるに至った経緯や歴史、これからのことについて考察する。</p>	
だれをも仏や神にする死生観	佐藤 弘夫 // 著
家の神さま	鶴岡 幸彦 // 文
昔話「力太郎」ユーラシアを翔ける	斧原 孝守 // 著
世界海戦史	ヘレン ドウ // 著

タイトル	著者
[4] 自然科学・医学	
大人のための自由研究ガチ解説	I O編集部 // 編集
<p>子どものころにかいま見た科学の世界を大人の目でもう一度覗いてみよう!「ロボットキットの重心制御」「スライム」「ヘロンの噴水」などの自由研究の定番実験・工作をピックアップし、その仕組みや原理を詳細に解き明かす。</p>	
錬金術をめぐる人類の戦い	齋藤 勝裕 // 著
物語のある月の図鑑	ペズル // 著
地球博物学大図鑑	スミソニアン協会 // 監修
花と暦を楽しむ366日	森乃 おと // 著
教えて!クラゲのほんと	鶴岡市立加茂水族館 // 編著
養老先生、がんになる	養老 孟司 // 著
<p>心筋梗塞の奇跡的回復から4年、肺がんで再び入院した養老先生。がんが発見されてから、養老先生の意識や考え方に変化はあったのか? 抗がん剤治療の途中までの約3カ月間を、養老先生と東大病院の中川恵一先生が語る。</p>	
管理栄養士の3食「米」でもやせるコツ	赤松 るみ // 著
私トリセツ	小林 舞 // 著
健康おおいしだ21【第2次・中間見直し】	大石田町保健福祉課 // [編]
健康おおいしだ21(第3次)	大石田町保健福祉課 // [編]
[5] 技術・工学・家政学	
世界一クールな気候変動入門	ジョン クック // 著
<p>「地球温暖化なんてあり得ない!」と主張する困ったおじさんを相手に、気候変動の基礎知識をやさしく学ぶビジュアル書。陰謀論やフェイクニュースなどから身を守り、よりよい議論をするための科学的思考力が鍛えられる。</p>	
宮田珠己の楽しい建築鑑賞	宮田 珠己 // 著
写真と歴史でたどる日本近代建築大観 第2巻	石田 潤一郎 // 監修
知るだけで100万円安くなる!令和版・解体工事の新常識	中野 達也 // 著
かわと生きる	上吉川 祐一 // 著
LEGO	イエンス アンダーセン // 著
なぜ、あなたの料理はちょっとマズイのか?	小田 真規子 // 著
<p>マズイっていうほどじゃないけど、なんとなくいまちな私の料理…。その悩み、解決します! 料理研究家が、料理初心者や料理が苦手な人に向けて、料理をおいしくするヒントとレシピをコミカルなマンガとともに解説します。</p>	
塩クッキーとケーキ	加藤 里名 // 著
日本のおむすび	菅本 香菜 // 著
燻製大全	服部 弘 // 著
A WORKSバスクチーズケーキの基本	船瀬 洋一郎 // 著
三國流おうちでつくる極上スープ	三國 清三 // 著

タイトル	著者
[6] 産 業（農業・畜産・商業・観光など）	
図解でよくわかる根のきほん	根研究学会 // 編 著
<p>知っているようで知らない植物の「根」。植物の「根」の種類や役割をはじめ、いろいろな植物の根の特徴、環境を支える根の役割など、根のきほんをわかりやすく解説。根の研究の最前線も紹介。</p>	
図解よくわかる実践!スマート農業	三輪 泰史 // 著
1冊目に読みたいデジタルマーケティングの教科書	神崎 健太 // 著
持続可能な交通まちづくり	宇都宮 浄人 // 著
最新物流業界の動向とカラクリがよ〜くわかる本	船井総研ロジ株式会社 // 著
ホテル業界のしくみとビジネスがこれ1冊でしっかりわかる教科書	吉田 雅也 // 著
[7] 芸 術 ・ 体 育 ・ 娯 楽	
県芸文の記録 令和6年度	山形県芸術文化協会 // 編
寒河江市内遺跡発掘調査報告書 31	寒河江市教育委員会
運慶と鎌倉	神奈川県立金沢文庫 // 編
<p>鎌倉幕府と深い関わりをもち、東国での活動を展開した運慶。鎌倉周辺に残された重要作品から足跡を辿る。運慶とその工房作の仏像を多数収録した、神奈川県立金沢文庫・横須賀美術館・鎌倉国宝館連携展示の解説図録。</p>	
日本画家小譚	河野 沙也子 // 著
日本絵画名作レファレンス事典 第2期古代～近現代	日外アソシエーツ株式会社 // 編集
日本画画材と技法の秘伝集	小川 幸治 // 編著
tupera tuperaのアイデアポケット	tupera tupera // 著
<p>絵本や工作、ワークショップなど様々な分野で幅広く活動している「tupera tupera」が、絵本づくり・工作のアイデア、テクニックなどを紹介する。ミシマ社のオンラインイベントの内容を加筆修正。</p>	
魔女の赤い帽子	藤城 清治 // 著
エミール・ガレ作品集	エミール ガレ // [作]
川西町フレンドリープラザ公演記録集 1994-2024	川西町フレンドリープラザ // 著
MONTEDIO Advance	
大石田町スキー連盟 創設50周年記念誌	
[8] 言 語	
言葉なんていない?	古田 徹也 // 著
<p>そもそも「発話」によっていったい何をしているのか? 言葉のやりとりはなぜ不確かなのか、言葉は人と世界をつなぐ媒介物なのか障壁なのかなど、哲学的な視点から言葉の役割を見つめ直す。もっと考えるための作品案内も収録。</p>	
東北電力第50回中学生作文コンクール作品集 2024年	
[9] 文 学（文学史・詩歌など）	
<実践>小説教室	根本 昌夫 // 著

タイトル	著者
あやふや記憶の本棚	あやふや文庫 // 著
私の最後の羊が死んだ	河崎 秋子 // 著
<p>なぜ羊飼という職業に就き、順調においしい肉を生産していたのにやめる決断をしたのか。直木賞作家が、最初の1頭を飼ってから最後の1頭の出荷を見届けるまで、「小説家前夜」の日々を綴る。『週刊ポスト』連載を書籍化。</p>	
教師宮沢賢治のしごと	畑山 博 // 著
古典を今にめぐる物語	泉 雅代 // 著
金の卵	海藤 忠男 // 著
はじめての近現代短歌史	高良 真実 // 著
The Illustrated Book of JAPANESE HAIKU	William Scott Wilson // [編訳] 著
<p>[9] 文学(日本の小説)</p>	
よむよむかたる	朝倉 かすみ // 著
碧血の碑	赤神 諒 // 著
春夏秋冬代行者 [1上]	暁 佳奈 // 著
<p>世界には冬しか季節がなく、冬は孤独に耐えかねて生命を削り春を創った。やがて大地の願いにより夏と秋も誕生し、四季が完成した。この季節の巡り変わりを人の子が担うことになり、“四季の代行者”と呼ばれた…。</p>	
春夏秋冬代行者 [1下]	暁 佳奈 // 著
音のない理髪店	一色 さゆり // 著
夜更けより静かな場所	岩井 圭也 // 著
駒場の空にかかる月	岩切 祝史 // 著
ラーメン赤猫	アンギャマン // [原] 著
五葉のまつり	今村 翔吾 // 著
<p>豊臣秀吉の公私に亘る大事業を縁の下で支え、いつしか五奉行と呼ばれるようになった男たち。石田三成、増田長盛、浅野長政、長束正家、前田玄以は、力を合わせて難事に立ち向かう。『週刊新潮』連載に加筆修正。</p>	
イツツ・ダ・ボム	井上 先斗 // 著
その時鐘は鳴り響く	宇佐美 まこと // 著
日比野豆腐店	小野寺 史宜 // 著
わたしと一緒にくらしましょう	尾八原 ジュージ // 著
みんなこわい話が大すき	尾八原 ジュージ // 著
白紙を歩く	鯨井 あめ // 著
<p>自分には“走る理由”がないことに気付いた陸上部のエース、風香。物語は人を救うと信じている小説家志望の類。2人は同じ時間を過ごしていくうちに「自分と陸上」「自分と小説」に真剣に向き合うようになっていき…。</p>	
青い絵本	桜木 紫乃 // 著
司馬炎	塚本 青史 // 著



タイトル	著者
雫	寺地 はるな // 著
坂の中のまち	中島 京子 // 著
婚活マエストロ	宮島 未奈 // 著
おとこ川をんな川	唯川 恵 // 著
逃亡者は北へ向かう	柚月 裕子 // 著
[9] 文学(エッセイ・手記など)	
父のコートと母の杖	一田 憲子 // 著
人は「子供」という立場を抜け出して、自分の親と同等の「大人」という目線になったとき、ひとりの人間として親と再会するのかもしれない。老いた両親との出会い直しの過程で、何を見つけ、何を感じ、何を考えたかを綴る。	
マイナーノートで	上野 千鶴子 // 著
旅のたのしみ	甲斐 みのり // 著
[9] 文学(海外文学)	
動物城2333	荷午 // 著
ほんのささやかなこと	クレア キーガン // 著
1985年、アイルランドの小さな町。寒さが厳しくなり石炭の販売に忙しいビル・ファーロングは、町が見て見ぬふりをしていた女子修道院の“秘密”に触れ…。現代アイルランド文学の旗手が贈る、史実に基づいた中篇小説。	
白猫、黒犬	ケリー リンク // 著
アウシュヴィッツの父と息子に	ジェレミー ドロンフィールド // 著
傷ついた世界の歩き方	フランソワ=アンリ デゼラブル // 著
カテリーナの微笑	カルロ ヴェッチェ // 著



『私の最後の羊が死んだ』
河崎 秋子 // 著
小学館

『雫』
寺地 はるな // 著
NHK出版

『青い絵本』
桜木 紫乃 // 著
実業之日本社

『鷺屋重三郎』
増田 晶文 // 著
新潮社

『読んだら勉強したくなる 東大生の学び方』
西岡 吉誠 // 著
空問書院